



さいたま市議会議員(2期目) 市民の目線、初心を忘れずに! 佐伯かずみ

ヤル気、
元気、
さえき!

2024.4

誰もが参画できる「元気なチームさいたま市」を、そして市民の「声をカタチに！」を目指していきます。

2024年度のさいたま市予算は過去最大規模に!

一般会計は、7,120億円(前年比430億円の増)、特別会計と企業会計を合わせると、1兆1,816億円(前年度比528億円の増)と、過去最大規模になっています。

歳入

定額減税減収補填特例交付金の増、普通建設事業費の増加に伴う国庫・県支出金および市債の増、しかし市税は17億円減の2,828億円、市の貯金である税制調整基金から財源不足を補うため171億円を取りくずし、借金である市債は139億円増の899億円となりました。

歳出

障害者自立支援給付金、保育施設等運営、児童手当等の福祉サービスや子育て支援医療費助成事業等の扶助費や、定年引上げに伴う退職手当の増加による人件費の増、サーマルエネルギーセンター建設工事等の普通建設事業費が増加しました。

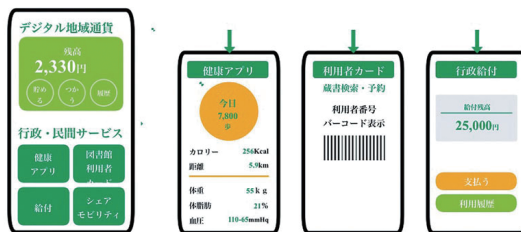
2024年度、こんなこと始まります! 新規事業・拡大事業等

◎ **18歳までの医療費の無償化**がいよいよ実現! します

令和6年
10月から

◎ デジタル地域通貨を含む市民アプリの導入

チャージ金額の3%を5年間還元、市内の店舗などで簡単に決済できる「デジタル地域通貨」の運用を6月から開始。給付金受け取り、図書館カード、ゴミ・防災情報機能などの機能も搭載。加盟店を増やし地域経済の活性化も狙う。



デジタル地域通貨を含む市民アプリのイメージ図 (さいたま市提供)

◎ アピアランスケア支援(がん患者等のための)

医療用ウィッグの2分の1もしくは上限3万円の補助、乳房補正下着2分の1もしくは上限2万円、人口乳房2分の1もしくは10万円の補助。私たち会派がかねてから要望していたものです。

◎ 子ども誰でも通園制度(仮)

就労要件を問わずに0~2歳までの子どもが利用できる。不安を抱える方への支援。

◎ 旧大宮警察署跡地の活用が決まる

子ども・子育て世帯の目線に立った公園に! 整備に向けた基本計画を実施。

◎困難を抱えた子どもたちの常設の居場所づくり

まずは市内3か所を予定。放課後の居場所と食事の提供も行う(夏休みなども含む)。

◎自治会の電子回覧板アプリの初期費用の補助

初期費用66,000円の2分の1、を補助。昨年度の10件から100件へ拡大。

◎大学進学「夢」支援

年収380万円以下の世帯(←モデルケース)で大学受験時の受験料53,000円(上限)と入学金25万円の補助。学力評定3.0以上、作文の提出。2024.9月応募、12月支給手続き。審査の上30名。

◎子ども青少年希望基金の創設

生活困窮世帯で学習支援事業を受けている方対象(上の「夢支援」と同額、さらに中学3年生と高校3年生には上限で模試費用助成あり)

◎「不登校特例校」の設置に向けて

令和8年から開始予定。オンライン授業とスクーリング教室への登校。

◎書かない窓口を西区役所から実証実験に

今まで区役所に行き申請書に住所氏名生年月日等書いて提出していた書類への記入を、窓口で申請書を打ち出すことにより最小限の記入で申請できるようにする。



トピックス

～高校生の声をカタチに!～



写真上は彼らが市の職員さんにペイント案を提示しているところ

以前もお伝えしたことがありますが、1年半前に高校生たちから『西口のバスロータリーが特に朝の通学時はとても混雑して、どこ行きのバスの列に並んでいるのかわからなくなるので、色別に床面にロードペイントをしてほしい』という相談を受けました。当初、バス会社も市からも断られたと彼らは私の「お困りごとLINE」に連絡をくれました。行政と彼らをまずはつなげ、その後バス会社や近隣高校も入り、検討を続けています。

市側も学生の提案を尊重、床面にペイントすることを許可、数回の打ち合わせを経てこの春やっとペイントができる目途が立ってきました。地域の課題解決のための学びは今年度私が所属していた文教委員会のテーマでもあります。

愛知県の新城市では若者の施策に予算をつけてカタチにしています。さいたま市でも大学生などによる施策提案の機会がありますが、予算がついていません。ぜひとも市には予算をつけて若者の声、女性の声、市民の声をカタチにしてほしいと思います。この「声をカタチに!」は、2月予算委員会の総括質疑でも私たちの会派で取り上げ質疑したテーマです。

埼玉新聞

できない理由ではなく、できる方法を…大宮駅西口バスロータリー、10代の声で混雑緩和へ すでに“改革”も

2024/03/03/10:48

鉄道・交通 教育・学び さいたま市



埼玉新聞デジタル版



趣味のインディアカは好きが高じて国際審判員、早稲田大学スポーツ科学部講師に。防災士としてジェンダーと防災について展開。

朝の駅での市政レポート配布は大宮区7か所を回っています。当選以来ずっと続けて550回。これからも皆さんの声を直接お聞きし、市政に届けていきます。

お困りごと、市政へのご意見LINE は右から。市の情報、私の情報も流しています。➡

